

平成 30 年度事業報告

平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

平成 30 年度一般社団法人入間市シルバー人材センター事業結果を次のとおり報告します。

1. 概要

我が国の少子高齢化は急速に進行しており、生産年齢人口の減少に伴い社会の担い手としての高齢者の活躍が期待される中、「労働者派遣法」や「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」の改正が施行されました。当センターでは、これらの社会環境変化を認識し、安全・適正就業の取り組みや普及啓発活動と連動させ、就業会員の増員と就業機会の拡大を目指して会員と役職員が一丸となって活動を展開しました。その方法として、4 つの委員会を発足させ、担当理事が責任をもって活動しました。更に、今後の事業展開の基本計画を策定するために、「中期基本計画策定実行委員会」を立ち上げて 14 回に及ぶ委員会を開催し、基本計画を策定しました。本年度実施した主な取り組みの状況は次の通りです。

事業実績（受託事業＋独自事業＋指定管理事業＋労働者派遣事業）

	平成 29 年度 (実績)	平成 30 年度		予算比	前年比
		予算	実績		
事業収入	643,153 千円	620,000 千円	682,071 千円	110.0%	106.1%
会員数 (年度末)	1,303 人	1,400 人	1,325 人	94.6%	101.7%
就業延人員 (月平均)	12,287 人	15,000 人	12,716 人	84.8%	103.5%

2. 新規の労働者派遣事業へ取り組みについて

高齢者活用・現役世代雇用サポート事業の一環として、新規の労働者派遣事業への取り組み活動を積極的に展開しました。

3. 安全・適正就業への取り組みについて

安全・適正就業を推進するために、広報誌「シルバーだより」及び「会員の皆様へのお知らせ版」を通じて全会員への理解呼びかけをしました。安全・適正就業委員会が企画した、①就業先への安全点検パトロール ②狭山警察署の協力による「交通安全講習会」③新規就業者を対象とした「適正就業研修会」を実施しました。更に、家庭援助班主催の「マナー講習」及び「フレイル予防研修会」を実施しました。

4. 会員募集の取り組みについて

総務委員会を中心に、毎週水曜日に入会説明会を実施しました。また、会員募集委員会では第5週目の水曜日に、地区公民館及び中央公民館での出張説明会を実施すると共に、センターのPRのため市内各地区の連合区長会開催時に参加し、ポスター掲示とチラシ回覧を依頼し、その効果を高めました。また、ホームページに就業者募集情報を掲載し、就業拡大に繋げました。

5. 普及啓発事業の取り組みについて

① 第10回元気な入間文化祭を開催しました。

今回10回目の節目となる年に開催を1日とし、新たな試みとして他シルバー人材センターのご協力を得て、地方物産品の販売を実施し、更にお子さんの参加を考慮して「めだかすくい」と「チアダンス」の出演も有り、また、市内巡回バスを運行し、従年来よりも充実した賑やかな市民参加型の文化祭となりました。

② やまゆり長寿フェスティバルに地域班を主体としたフランクフルトとカレーの出店販売で参加しました。

③ 第4回元気な入間ウォーキング大会を実行委員会中心に開催し、多くの方に参加頂き、焼きそばと豚汁の無料提供や参加賞と完歩証を交付しました。

④ 入間万燈祭りでは、地域班が主体となり出店販売を実施し、万燈祝い行列に「元気な入間阿波踊りの会」を先頭に参加し、市民との交流を深め普及啓発に努めました。

⑤ 第4回親睦交流バス旅行を実施し、栃木県の日本最古の学校（総合大学の前身）である「足利学校」を見学し、市民との交流を深めました。

⑥ 入間市生涯学習フェスティバルに輝く女性の会（愛称：サクランゴ）が昨年に続いて参加し、手芸品作成コーナーでは子供さんから大人までの多くの市民の方から好評を博しました。

6. 地域班活動の充実について

7つの地域班役員を中心に、独自の自主活動（会員懇親イベントや地域貢献）を企画及びセンター事業への協力活動を実施し、会員間の親睦を深め有意義な活動を展開しました。

7. 中期基本計画策定

中期基本計画策定実行委員会を発足させ、延べ14回に渡る審議検討を経て基本計画を策定しました。その構成項目は ①策定趣旨と期間 ②シルバー事業を取り巻く環境 ③シルバー人材センターの課題 ④事業推進計画の目標と取り組み で令和元年度より実行に移します。